

短報

聖路加国際大学フューチャー・ナースファカルティ 育成プログラム実施報告・2

奥 裕美¹⁾ 松谷美和子¹⁾ 三浦友理子¹⁾ 吉田 千文¹⁾ 五十嵐ゆかり¹⁾
池口 佳子¹⁾ 松本 直子¹⁾ 森島久美子¹⁾ 森川 雪絵¹⁾ 江本 桂¹⁾

The Progress Report on the Future Nurse Faculty Development Program at St. Luke's International University 2

Hiromi OKU¹⁾ Miwako MATSUTANI¹⁾ Yuriko MIURA¹⁾ Chifumi YOSHIDA¹⁾
Yukari IGARASHI¹⁾ Yoshiko IKEGUCHI¹⁾ Naoko MATSUMOTO¹⁾
Kumiko MORISHIMA¹⁾ Yukie MORIKAWA¹⁾ Katsura EMOTO¹⁾

[Abstract]

The Future Nurse Faculty Development Program (FNFP) is a project to train graduate students to be nursing faculty by strengthening their function in specific areas of teaching. This is a three-year project, which has been granted by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, from 2013 to 2015. This report summarizes its October 2014 through October 2015 progress from the previous 2013 to 2014 report.

The CNE (clinical nurse educator) course is a master's course in advanced practice in nursing education, which started in 2014; as of 2015 four students are enrolled in this course. Support programs to develop competence in teaching, research contribution and social contribution are progressing as scheduled based on the master planning.

Presentations were conducted in several academic conferences, and contributions were made to select journals to share the progress of this project. Based on the end of the project in this year, we considered which methods would contribute to the continuation of the FNFP programs.

[Key words] nursing education, nurse faculty, future nurse faculty development program

[要旨]

本学のフューチャー・ナースファカルティ育成プログラム (FNFP) は、文部科学省が推進する看護系大学院における教員養成機能を強化する取り組みとして平成25 (2013) 年度に採択された。事業期間は平成27 (2015) 年度までの3年間であり、今年度が最終年度である。本稿では、平成26 (2014) 年度10月に行った報告以降1年間のFNFP事業の実施内容を報告する。

平成26年度より開講した修士課程看護教育学上級実践コース (CNE:clinical nurse educator コース) には、平成27年度新たに4名の学生が入学した。教育力開発プログラム、研究力開発プログラム、社会貢献活動力開発プログラムは、本事業の基本的構想に基づき前年度とほぼ同様に実施している。また、本事業の経過を広く公表するため、論文の投稿や学会での発表を行った。

平成27年度での事業期間の終了を踏まえ、事業継続の方法について検討を行った。

1) 聖路加国際大学2015年度FNFP委員会 St. Luke's International University, 2015 Future Nurse Faculty Development Program Committee

〔キーワード〕 看護教育， 教員養成， フューチャー・ナースファカルティ育成プログラム

I. はじめに

聖路加国際大学フューチャー・ナースファカルティ育成プログラム（以下，FNFPとする）は，看護系大学において質の高い教育を提供することができる人材（教員）を育成し，社会のニーズに応える能力のある看護職を養成することを通して，社会に貢献することをミッションにした事業である。平成25（2013）年度文部科学省「看護系大学教員養成機能強化事業」に採択され，平成27（2015）年度までの3年間は補助金を受けて実施している。

平成25年度は主にプログラムの基本構想を策定，翌年度以降の事業の準備を行い，平成26（2014）年度より事業を本格稼働させている。本稿では，平成26年度の報告以降現在までの事業の実施内容と課題について報告する。

II. FNFP 事業の計画

FNFPは大きく「CNE コース」と「教育力・研究力・社会貢献活動力開発プログラム」の二つから構成される，大学院の教育プログラムである。CNEは，clinical nurse educatorの略称であり，CNE コースは大学院修士課程における看護教育学上級実践コースの通称である。「教育力・研究力・社会貢献活動力開発プログラム」は，全大

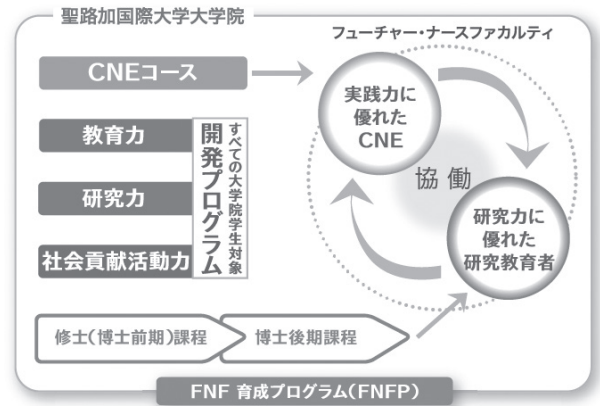


図1 フューチャー・ナースファカルティ育成プログラムの構成

学院生を対象として実施する事業である（図1）。

現在進行中の事業計画は図2の通りである。平成25，26年度の実績や学生の意見を生かし，事業内容を修正したり，新たに事業を立ち上げたりしながら進行している。

III. 平成26（2014）年度10月～平成27（2015）年度10月までのFNFP事業

1. CNE コース

実践力に優れ，臨床に軸足を置きながら研究成果を实

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
C N E コ ー ス	M 1	特論I			演習I			特論II				演習III	
		必修/選択科目						必修/選択科目					←課題
M 2		研究計画書作成→		課題研究データ収集・まとめ									
		必修/選択科目			実習		実習						
F N F P 事 業		ランチタイムミニ講座			ナースを育てる討論会(教)					Dr. タナー来日準備各種セミナーコンサルテーション(教)			
			研究力開発セミナー(研)		教育学セミナーTAワークショップ(教)			↑	研究力開発セミナー(研)(2014)				
										研究豆カフェ(2015～)(研)			
		TA活動メンタリング(教)											
	社会貢献活動シャドウイング(社)												

(教) 教育力開発プログラム (研) 研究力開発プログラム (社) 社会貢献活動力開発プログラム

図2 フューチャー・ナースファカルティ育成プログラム事業計画



写真1 平成27年度教育学セミナーの様子



写真2 平成27年度教育学セミナーの様子

践に導入していく力と、学習者の能力開発を支援する力を併せ持つ人材の育成を目的とした看護教育学上級実践コース（修士課程）である。コースが開講した平成25年度に入学した5名は、順調にコースワークを進めCNEプラクティカム（実習）と、課題研究に取り組んでいる。本年度は4名の入学者がおり、こちらも順調に1年目のコースワークを進めている。

学部教育に教学補助者として参加しながら進むプログラムにおいては、CNEコースの学生が学部教育の目的を理解し、学部生の学習支援を行うのに必要な事前準備が必要であり、学部科目担当教員の協力を得て準備状態を整えられるよう努めている。また、聖路加国際病院で行う演習や実習においては、実習前の準備を含めて、病院の協力を得て行っている。

2. 教育力開発プログラム

「教育学セミナー」、「TA（teaching assistant；教学補助者）ワークショップ」、「TA活動メンタリング」を実施した。また、プログラムの基盤となっているTA制度について説明するハンドブックを作成した。

1) TAハンドブック

近年TA制度を持つ大学では、制度の目的、業務内容、注意事項、待遇などを大学院生に説明するガイドブックの刊行が進んでいる。TA制度についてはこれまで、大学院入学時のオリエンテーションの際、TA制度があること、事前登録が必要なこと、教育歴とすることができること等を教務課より説明していたが、教育上の目的について説明する機会はなかった。そこでFNFP事業の展開に合わせ、本学におけるTA制度の目的、業務内容、実施上の責任、FNFPとの連携、雇用契約の方法等について記載したTAハンドブックを、教務課及びTAの雇用手続きを行う人事課担当者とともに作成し、研究科委員会での確認を得た。

ハンドブックは入学時オリエンテーション時に大学院

生に配布し、説明を行った。

2) 教育学セミナー（写真1、2）

教育学セミナーの開催は、今年度で3回目となる。昨年度までと同様に、東京大学フューチャー・ファカルティプログラム（FFP）の協力を得て実施した。参加者は21名であった。今年度は、大学、および日本看護系大学協議会（JANPU）のウェブサイトを利用し、他大学の大学院生にも参加の募集を行ったところ、4名が参加した。また、学生の意見を基に、開催時期を9月から7月に変更し、開催1日目と2日目の間隔を中1日から中2日に延長した。開催時期を変更したのは、9月に入ると大学院生にも実習が始まり時間の確保が困難であるという意見があったため、間隔を延ばしたのは、1日目に発表した模擬授業の内容を2日目までに修正するのに、中1日では難しいという意見があったためである。

3) TAワークショップ

TAワークショップは2回目の開催である。教育学セミナーと同様に、他大学の大学院生の参加も募り、合計18名（学内14名、他大学4名）が参加した。

平成26年度からの変更点は、教育方法の具体例を知るためのプログラムを増加したことである。本学内で実習に繋がる授業を実践している教員が、実際にどのような授業を行っているのかを紹介した。

4) TA活動メンタリング

平成26年度より引き続き、在学中の学生がTA活動を行った際にクラウド型教育支援システム“manaba”上でリフレクションシートの提出を依頼している。平成27年10月時点で、10通が提出されている。

3. 研究力開発プログラム

事業年度終了後の平成28年度以降の事業の継続を鑑み、FNFP主催でプログラムを開催したほか、FDSD（faculty development and staff development）委員会や研究センターとの協働事業として、事業を企画、開催した。

1) FNFP 主催のプログラム

平成27年度から主に修士課程の学生を対象にした「研究まめカフェ」を開始した。これは、研究に関する疑問を学生同士が自由に話し合う場を提供するものである。研究計画書提出までのペースメーカーとして利用してもらえよう、9月から2月まで月に1回開催する。FNFPメンバーは、研究計画書の作成準備に役立つミニ講座を実施し、ディスカッションの種を提供している。現時点で第2回までを終了しており、毎回8～9名程度が参加している。

2) 研究センター、FDSD 委員会との連携事業

研究センターとの協働で、「研究費・助成金獲得のための魅力的な研究計画書の書き方セミナー」を7月に実施した(参加者34名)。また、平成27年度はFNFP委員が主催して行った、FNFPの外部評価者であるオレゴン健康科学大学名誉教授 Dr. Christine A. Tanner による講演会を、FDSD委員会との共催で平成28年1月に実施する予定である。

4. 社会貢献活動力開発プログラム

平成26年度の11月以降、これまで6件の機会を設け、4名の学生がリアクションペーパーを提出している。

IV. FNFP 事業の広報

1. 学内に向けた広報

学生に向けては平成26年度と同様、入学時のオリエンテーションを初め、大学院生を対象にした「ランチタイムミニ講座」を企画・実施した。ミニ講座は3回開催し、内容は「教育学セミナー・TAワークショップについて」、「Duke 大学看護学部の看護教育について」とした。また、平成26年度から引き続きFNFP事業の進行やイベント情報を記した『FNFP 通信』を月に1回発行し、現在の最新号は14号である。

そして平成28年4月には、第1期のCNEコースの学生が修了する予定であることを鑑み、聖路加国際病院の職員に広くFNFP事業やCNEコースについて知ってもらうため、「FNFP/CNEのこれからを考える会」を7月に実施し、34名の参加があった。さらに、本学におけるFDSD事業の重点週間であるFDSDウィークの中でも「FNFPのこれまでの活動と今後の計画」を発表する機会を得た。

2. 学外に向けた広報

大学ホームページ内のFNFP紹介ページの更新を行うとともに、facebookページ(<https://www.facebook.com/SLIUFNFP/>)の更新も随時行っている。8月には第19回日本看護管理学会において「エビデンスのある教育の

ための基盤づくりー看護職の『教える力』を育む教育力育成プログラム」と題した交流集会を開催し、80名を超える参加者があった。また、複数の看護系の雑誌に、本事業や取り組みの内容を紹介する機会が得られ、雑誌『看護管理』25巻6号および、『看護教育』56巻7号に、関連した記事が合計4本掲載された。その他、他大学のFD研修や看護系学会の演者に招聘され、FNFP事業について説明する機会を得るなど、本事業への関心を学外へも広げることができている。

V. FNFP 事業のこれから

FNFPは1年ごとに事業実施の進捗について、評価を受けることになっており、平成26年1月に行われた平成26年度(2年目)の事業評価会では3名の外部評価者から、学習や教育方法についてのエビデンスに基づいた教育を行い、学生が主体的に学ぶための「教える力」を育成している点や、大学教員としての心構えを系統的に学ぶことができるプログラムを提供している点、教育と研究と実践を繋ぐ人材を育成しようとしている点などにおいて、優れているという評価を受けた。一方、主に本学の大学院生を対象として行われているプログラムであり、全国的なニーズには十分にこたえることができていないことが、課題として挙げられた。この評価を受け、平成27年度は基本的な事業計画の変更はしないものの、教育力開発支援プログラムの公開を行うなど、可能な範囲での事業の改善を行っている。

そして現在、事業年度終了後の来年度からの事業の収束、継続方法を本格的に検討している。今後のFNFPの発展の可能性について先駆的な事例から学ぶため、平成27年3月には米国Duke大学を訪問し、IEE(Institute for Educational Excellence)と呼ばれる、教員・大学院生の教育力を支援する独自の組織について説明を受けた。なお、このIEEを中心として行われる優れた看護教育者の育成支援は、全米看護教育連盟(National League of Nursing Education: NLN)が認証するCenter of Excellence in Nursing Educationに認証されており、学生の学ぶ力を高めることを支援する看護教育者の育成が組織化され、具体的に行われていた。こうした先駆的な他大学の例も参考にしながら、看護系大学において質の高い教育を提供することができる人材を育成し、社会のニーズに応える能力のある看護職を養成することを通して社会に貢献する、というミッションを今後も継続していくことができるような方法を、大学・病院の協力を得ながら考え、計画していく予定である。

参考文献

1) 松谷美和子, 三浦友理子, 奥裕美. (2014). 看護系

- 大学教員育成の新しい風 聖路加国際大学のフューチャー・ナースファカルティ育成プログラム. 看護教育, 55 (1), 1042-1048.
- 2) 松谷美和子, 奥裕美. (2015). 聖路加国際大学大学院フューチャー・ナースファカルティ育成プログラム, 看護管理, 25 (6), 476-481.
- 3) 奥裕美, 松谷美和子, 三浦友理子他. (2015). 聖路加国際大学フューチャー・ナースファカルティ育成プログラム実施報告・1, 聖路加国際大学紀要, 1, 83-87.